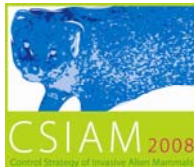


国際シンポジウム 侵略的外来哺乳類の防除戦略 ～生物多様性の保全をめざして～

Control Strategy of Invasive Alien Mammals 2008 (CSIAM 2008)

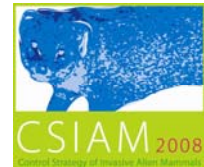
~Building on Success, Learning from Failures; 100 Ways to Beat Invasive Mammals~



<http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html>

2008年10月27日（月）～31日（金）

会場：沖縄産業支援センター



主催：Control Strategy of Invasive Alien Mammals 2008 実行委員会

共催：環境省，沖縄県

後援：日本生態学会，日本鳥学会，日本哺乳類学会，日本野生動物医学会，日本霊長類学会，野生生物保護学会，沖縄県獣医師会，



ISSG (The World Conservation Union / Species Survival Commission / Invasive Species Specialist Group)，東村，大宜味村，国頭村

協賛：八千代エンジニアリング（株），（資）大進商会，（株）南西環境研究所

助成：琉球大学後援財団



助成：独立行政法人日本万国博覧会記念機構



助成：大和日英基金

大会委員長からのご挨拶

外来生物は生物多様性の急速な減少をもたらしている主要因の1つです。とくに外来哺乳類は影響が深刻で、日本を含む世界各地で多くの在来生物種の存続を脅かしています。世界中でさまざまな取り組みが進められていますが、外来哺乳類の効果的な駆除や管理はきわめて難しく、成功例はまだ限られているのが現状です。一方で、問題を抱える地域は増加の一途をたどっており、これまでの経験について情報交換や議論を行い、今後の課題を明確化することが、いま非常に重要です。

今回の国際シンポジウムは、定着してしまった外来哺乳類の駆除・管理の具体例について学び、議論することに重点を置いています。外来哺乳類問題に携わる現場や行政の担当者，研究者，市民にとって，世界最前線の知識や経験，考え方に触れ，さまざまな国や分野の人たちとの関係を作り，得たものを今後の自らの仕事に生かせる貴重な機会となることを願っています。

(CSIAM2008 実行委員長 石井信夫)

1. 会期 2008年 10月27日（月）～31日（金）

- 10月27日（月）受付，ウェルカムパーティー
- 10月28日（火）全体会議（一般公開），ポスターセッション
- 10月29日（水）分科会，ポスターセッション，懇親会
- 10月30日（木）分科会，ポスターセッション
- 10月31日（金）エクスカージョン

2. 会場 沖縄産業支援センター（全てのプログラム）

〒901-0152 沖縄県那覇市宇小緑 1831 番地 1 TEL：098-859-6234 (<http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/>)

3. 会議概要

CSIAM2008 は，島国という共通点を持つ日本・イギリス・ニュージーランド3カ国の研究者による外来生物の研究・対策に関する協働作業の中で企画されました。シンポジウムでは，この3カ国に限らず世界各国の外来哺乳類対策に関する知識と経験を集約し，今後の有効な具体的対策を整理することと，国際的な研究者ネットワークを構築することを目的としています。

シンポジウムは，全体会議，分科会（いずれも同時通訳付き）および一般講演（ポスターセッション）で構成されます。

全体会議（28日）は，午前の部において基調講演として海外の外来種対策主要事例及び日本の現状を紹介します。午後の部は種別会議とし，代表的な外来哺乳類としてマングース・ノネコ・ネズミ・ノヤギ・ノブタに焦点を当てた各論講演を予定しています。全体会議は一般公開となっております。

分科会(29, 30日)はワークショップ形式で、外来哺乳類対策に関する包括的大テーマと具体的小テーマをそれぞれ5題ずつ、計10題設定し、各々のテーマについて成功と失敗のポイントをそれぞれ5ポイント、計10ポイントにまとめます。最終的にこれらを集約して、外来哺乳類に対抗する100のポイントとし、これを本シンポジウムの成果とします。

一般講演(ポスターセッション, 28~30日)では、外来哺乳類に関連する演題を広く募集しますので、ふるってご応募下さい。

外来生物対策では、成功例ばかりでなく、非常に多くの教訓が含まれている失敗例も重要です。本シンポジウムでは、各国の対策実態を忌憚なく話し合い、真に効果的な対策ポイントをまとめあげ、我が国のみならず世界的な外来生物対策の構築にも貢献することを目指します。

4. プログラム

10月27日(月) 受付, ウェルカムパーティー

Registration (受付) 15:00~

Welcome Party (ウェルカムパーティー) 18:00~20:00

10月28日(火) 全体会議 (Plenary Session) 同時通訳付き (一般公開・無料)

開場 9:10 開会 9:30

Keynote Speech (基調講演) 9:50~11:50

Public Lecture (種別会議) 13:20~16:30

Mongoose session (マングース防除) 17:00~20:00

10月29日(水) 分科会 (Unit Session) 5 Big Pictures 同時通訳付き

Unit Session (分科会) 9:00~17:00 (各60分×5セッション+総括)

1. Legislation and Policy (法制度と管理方針)

2. Prioritization and Risk Assessment (優先順位およびリスク評価)

3. Risk Management Systems and Precautionary Principles (リスク管理システムと予防原則)

4. Research and Adaptive Management (調査研究および順応的管理)

5. Public Awareness and Engagement (普及・啓発)

Summing up points (総括)

Banquet (懇親会) 18:00~20:00

10月30日(木) 分科会 (Unit Session) 5 Small Pictures 同時通訳付き

Unit Session (分科会) 9:00~18:00 (各60分×5セッション+総括)

1. Logistics and Planning (管理戦略および管理計画)

2. Control Technique I (Trapping, Poisoning and Fencing) (コントロール手法I (罠, 毒物およびフェンス))

3. Control Technique II (Other Methods) (コントロール手法II (その他の手法))

4. Population Monitoring (個体群モニタリング)

5. Indirect Effects and Ecosystem Approach (間接効果と生態系アプローチ)

Summing up points (総括)

Round up session (全体のまとめ)

10月28日(火) ~30日(木) ポスターセッション (Concurrent Poster Session)

Concurrent Poster Session (ポスターセッション) 9:00~18:00

コアタイムは29日と30日の13:00~14:00

10月31日(金) エクスカーション (Optional Excursion)

Optional Excursion (エクスカーション) 7:30~18:00

「やんばる地域におけるマングース対策の現状」

北上防止柵, 林内のワナ設置状況, ヤンバルクイナ保護シェルター, やんばる野生生物保護センター見学

5. 参加申込・送金・締め切り

- 参加希望者は参加申込用紙に必要事項を記入し、Fax または E-mail のいずれかで事務局までお送り下さい。E-mail の場合は参加申込用紙と同様の項目を添付ファイルではなくテキストにて送信して下さい。なお、参加申込用紙はHP (<http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html>) からダウンロードが可能です。
- 参加費・・・・・・・・一般6,000円, 学生4,000円
- 懇親会費・・・・・・・・一般・学生とも8,000円
- エクスカーション・・・一般・学生とも2,000円(昼食代含む) *申込先着順, 定員(40名)になり次第締切
- 各種締切(必着)・・・・①9月20日(土) : 参加登録, 講演要旨集のみの購入, エクスカーション申込, 諸費用送金
②8月30日(土) : 一般講演(ポスター) 発表要旨

- シンポジウム不参加者で講演要旨集のみをご希望の方にはシンポジウム終了後にお送りします。参加申込用紙C欄に必要事項を記入し、1部につき代金(送料込み)2,500円(国内発送)または3,000円(国外発送)を下記口座に送金下さい。

➤ 諸費用送金先

沖縄銀行 我如古 支店(オキナワギンコウ ガネコ シテン) 店番:307 口座番号:1594084(普通預金)
口座名:国際シンポジウム侵略的外来哺乳類の防除戦略 代表者 小倉剛
(コクサイシンポジウムシンリヤクテキガイライホニユウライノボウジョセンリヤク ダイヒョウシャ オグラゴウ)

参加申込用紙(申し込み先:小倉 剛(琉球大学) E-mail:ogurago@agr.u-ryukyu.ac.jp Fax:098-895-8779)

A. 参加申込

1. 氏名:
2. ふりがな:
3. 所属:(学生の方は、学年と指導教官の名称:)
4. 連絡先(○で囲む)(自宅・勤務先)
(〒)住所:
電話: Fax:
E-mail:
5. 発表(○で囲む)(あり・なし)
6. 懇親会(○で囲む)(参加・不参加)
7. エクスカーション(○で囲む)(参加・不参加)
8. 送金(該当を○で囲む)

参加費: 一般 6,000円 ・ 学生 4,000円
懇親会費: 一般・学生とも 8,000円
エクスカーション: 一般・学生とも 2,000円

合計 _____ 円(送金予定日: 月 日)

B. 発表申込(ポスター)

1. タイトル(英語):
2. 氏名(英語)(連名の場合は発表者だけが記入し、発表者の左肩に*印を付ける):
3. 所属(英語):
4. 発表内容と最も近いカテゴリーをA~Kから選択し○を付ける
() A: Legislation and Policy (法制度と管理方針)
() B: Prioritization and Risk Assessment (優先順位およびリスク評価)
() C: Risk Management Systems and Precautionary Principles (リスク管理システムと予防原則)
() D: Research and Adaptive Management (調査研究および順応的管理)
() E: Public Awareness and Engagement (普及・啓発)
() F: Logistics and Planning (管理戦略および管理計画)
() G: Control Technique I (Trapping, Poisoning and Fencing)
() H: Control Technique II (Other Methods) (コントロール手法II (その他の手法))
() I: Population Monitoring (個体群モニタリング)
() J: Indirect Effects and Ecosystem Approach (間接効果と生態系アプローチ)
() K: その他

C. シンポジウム不参加者による講演要旨集の申込

1. 氏名:
2. 電話:
3. 住所:〒
4. 送金額:1部(送料込み)につき2,500円(国内発送)または3,000円(国外発送)
_____部×2,500円(国内発送)+ _____部×3,000円(国外発送) = 計 _____円
(送金予定日: 月 日)

6. 一般発表の申込およびポスターの作成方法

一般講演はポスター発表のみを公募します。発表を希望する方は、下記の「7. 発表要旨（英文）の作成」に準じて要旨を作成し、**8月30日（土）までに** E-mail で事務局までお送り下さい。また、**ポスターの作成方法については追って HP (<http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html>) にてご案内いたします**。CSIAM2008 は外来哺乳類を対象とした初めての国際シンポジウムであり、専門家との有意義な議論や交流の機会として活用いただけるものと考えております。多数の方からのお申込をお待ちしております。

7. 発表要旨（英文）の作成方法

要旨は以下の注意事項に従い作成して下さい。

- 要旨は次ページのサンプルを参照して英語で作成して下さい。1 題につき A4 版 1 ページです。Microsoft Word 2003 for Windows 形式で作成して下さい。なお、要旨サンプルは H P (<http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html>) からダウンロードが可能です。
- 余白は上、左右を 25mm、下を 30mm として下さい。文字フォントは Times New Roman で、タイトルは 14 ポイント、氏名は 12 ポイント、所属は 10 ポイント、本文は 11 ポイントとし、本文の行数は 51 行までで、1 行あたりの文字数は 70 文字程度を目安にして下さい。ページ番号は挿入しないで下さい。
- サンプルに従い 1 行目に題目、3 行目に著者の氏名、4 行目に所属機関名（複数の所属機関名がある場合は＊を氏名の右肩に記載）、7 行目以降に本文を記載して下さい。本文は single column で書いて下さい。必要に応じて、セクションを分けて下さい。
- 図表（写真を含む）は用紙に直接書くか、または貼り付けて下さい（電子ファイルの形式にできることが望ましい）。図の題名は図の下に、表の題名は表の上に Times New Roman 10 ポイントで書いて下さい。なお、要旨集はモノクロ印刷となります。
- 原稿は **2008 年 8 月 30 日（土）までに** E-mail で事務局までお送り下さい。
- 発表題目や発表者名は、参加登録申込書に記入したものと一致させて下さい。変更がある場合は、その旨を事務局までご連絡下さい。
- 要旨原稿受領後、数日以内に事務局から受付完了の連絡を E-mail でいたします。1 週間以上経過しても事務局からの連絡がない場合は、事務局（原稿送り先）にお問い合わせ下さい。

<要旨サンプル>

Instructions for Abstract of CSIAM2008 -A Sample Abstract-

Go Ogura^{*}, Sugoto Roy^{*} and Makoto Asano^{**}

^{*}Laboratory of Subtropical Zoology, Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan

^{**}Secretary of the CSIAM2008 Organizing Committee, Gifu, Japan

1. Introduction

This document is a sample of the abstract. Please prepare an abstract following this document format and the detailed instructions described here. Deadline of an abstract with an electrical file (MS Word 2003) is August 30, 2008.

Paper size must be A4. Leave margins 25 mm (top, right, left) and 30 mm (bottom). Do not number the pages. The abstract is limited within one page.

The main body of text must be written in single column. The text could be divided into several sections with headings. The heading of a section consists of a section number with a period and a title (*e.g.*, “2. Materials and Methods”).

Use 11 point Times New Roman font throughout except 14 point for paper title, 12 point for authors' name, 10 point for affiliation and 11 point bold for headings.

2. Tables, figures, and photographs (if any)

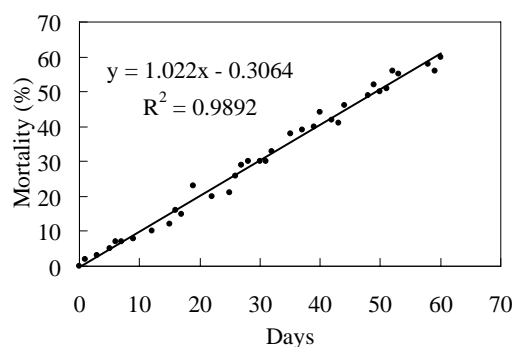
Figures and tables should be merged into the abstract (*e.g.*, Fig. 1). The title of the figure or the table should be written in 10 point Times New Roman fonts.

3. Submission

Authors are requested to submit an abstract with an electrical file (MS Word 2003 for Windows) to the CSIAM2008 organizing committee by **August 30, 2008** by E-mail to following address.

● ogurago@agr.u-ryukyu.ac.jp

(Abstract for Poster session)



8. 懇親会

沖縄の料理などをご用意した懇親会を以下のとおり行います。多くの皆様の参加をお待ちしております。

【日時】10月29日(水) 18:00~20:00 【場所】沖縄産業支援センター 観光物産展示場(1F)

【懇親会費】8,000円(一般・学生とも)

9. エクスカーション

「やんばる地域におけるマングース対策の現状」

やんばる地域のジャワマングース防除事業の現場を見学します。多くの皆様の参加をお待ちしております。

【日時】10月31日(金) 7:30~18:00(予定) 【募集人数】40名(申込先着順, 定員になり次第締切)

【参加費】2,000円(昼食代含む) 【集合・解散場所】沖縄産業支援センター(7:30までに集合)

①北上防止柵: 希少種が多いやんばる地域をマングース高密度地域から分断するフェンスを見学します。

②マングース捕獲作業現場: 林内のワナを点検しながらやんばるの山の雰囲気も味わっていただきます。

③ヤンバルクイナ保護シェルター: ヤンバルクイナを保護するための周囲2kmのフェンスを見学します。

④やんばる野生生物保護センター: 捕獲されたマングースの処置, ワナの整備, 訓練中の探検犬の様子も紹介します。

★混雑等により予定どりの時刻に戻って来られない可能性もあります。当日, 沖縄島を離れる方はご注意ください。

★40名に達し次第締め切ります。席に余裕がある場合には10月28日の19:00まで受け付けています。

★お問い合わせは環境省那覇自然環境事務所 阿部慎太郎 E-mail; shintaro_abe@env.go.jp までお願いします。

10. 申込・要旨送付先

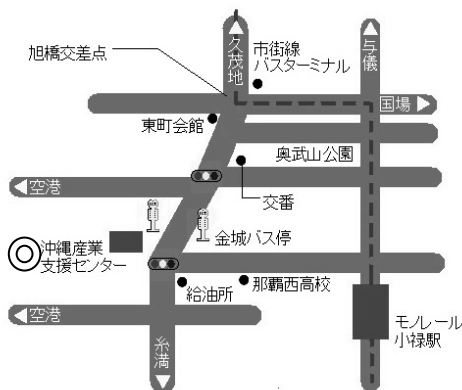
参加申込, 一般発表申込, 発表要旨(英文), 講演要旨集のみの購入申込, エクスカーション申込は以下にお送り下さい。

国際シンポジウム 侵略的外来哺乳類の防除戦略~生物多様性の保全をめざして~

Control Strategy of Invasive Alien Mammals 2008 (CSIAM 2008) 実行委員会事務局

(担当) 小倉 剛(琉球大学) E-mail: ogurago@agr.u-ryukyuu.ac.jp Fax: 098-895-8779

11. 会場アクセス 沖縄産業支援センター(沖縄県那覇市宇小禄 1831番地1) <http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp>



*会場内と会場付近には数軒のレストランやコンビニ等がございますが, 昼食時の混雑が予想されますので昼食のご持参をお勧めします。

<タクシー>

那覇市内主要ホテル(県庁や国際通り周辺)から会場まで約15分(片道1,000円程度)。

<バス>

那覇バスターミナル向かい国税庁舎前の「旭橋バス停」から89番系満線で約10分「金城バス停」下車, 「金城バス停」から徒歩3分(約10分ごとに運行, 200円)。

<モノレール>

ゆいレール「小禄駅」下車(那覇空港から約5分), 徒歩約15分。(200~290円, <http://www.yui-rail.co.jp/index.html>)

12. 宿泊

シンポジウム期間中の宿泊の幹旋は(株)JTB 沖縄を通じて行っています。宿泊予約については CSIAM2008 の HP (<http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html>) をご覧下さい。

国際シンポジウム 侵略的外来哺乳類の防除戦略~生物多様性の保全をめざして~

Control Strategy of Invasive Alien Mammals 2008 (CSIAM 2008) 実行委員会

委員長: 石井信夫(東京女子大), 事務局長: 常田邦彦(自然研), 事務局: 池田透(北海道大), 小倉剛(琉球大), 山田文雄(森林総研), 実行委員: 浅野玄(岐阜大), 阿部豪(北海道大), 阿部慎太郎(環境省), 石田健(東京大), 亘悠哉(森林総研), 草刈秀紀(WWF J), 五箇公一(国立環境研), 島田健一郎(北海道大), 立澤史郎(北海道大), 橋本琢磨(自然研), 水谷知生(環境省), 村上興正(同志社大), 安田直人(環境省), 吉田剛司(酪農学園大), John Parkes(Landcare Research, NZ), Mick Clout(Auckland Univ., NZ), Pete Robertson(Central Science Lab., UK), Phil Cowan(Landcare Research, NZ), Sugoto Roy(Central Science Lab., UK)

<お問い合わせ先> CSIAM 2008 実行委員会事務局

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原一番地 琉球大学農学部(亜熱帯動物学講座) 小倉剛(ogurago@agr.u-ryukyuu.ac.jp)
なお, 随時ホームページ: <http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html> にて最新情報を掲載いたしますのでご覧下さい。